

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ピュア児童デイサービス				公表日		令和7年3月31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	2	・活動室を2つ使用する。	・放デイと児童発達支援の多機能型の為、長期休み時は活動室が密になる。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		・基準人員に加え、加配人員を配置している。	・送迎等で、スタッフ少ない時間帯がある。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	・こどもが視覚的にわかりやすいよう、環境を整えている。	・室内の段差はないが、トイレ活動室への出入口のスペースが狭い。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		・毎日の清掃・消毒は必ず行っている。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	2	・個室は難しいが、間仕切りやカーテンでし切れるようになっている。				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	4	・ミーティングを行っている。	・長期休み時は、まとまった時間を取ることが難しい。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	・年1回実地				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	・年1回実地	・十分に話し合う時間の確保が必要。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8		・外部評価は行っていない。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	・自治体が開催する研修に参加し、その内容を共有している。				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		・ホームページで公開している。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		・定期的に保護者と面談を行っている。				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1		・			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	4		・全スタッフが周知・共有を行う。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	3	・インフォーマルなアセスメントを行っている。				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1	・支援計画は、ガイドラインに沿って計画している。				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	2					
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	4		・定着が必要なプログラムに関しては固定化して実施している。 ・児の特性に合ったプログラムを検討する。			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	1	・個別活動・集団活動を行っている。	・個々の目標に合わせた活動や遊びを取り入れる。 ・集団活動に全員が参加できるよう、工夫して支援を行う。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	6	・事前に作成している一日の流れをもとに、当日の動きを確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	5	・個別記録を記入しながら、一日の振り返りを行っている。	・送迎で参加できないスタッフも周知できるよう支援日誌に記録を残し、共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		・個人活動記録・支援日誌等に記録を残し、改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	4	・定期的に面談を行い、見直しの必要性を判断している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		・児童発達支援管理責任者、こどもの様子をよく知るスタッフが参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	4		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	2	・必要に応じて行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	3	・必要に応じて行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	4	4		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			・連携し、情報の共有をしている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	7		・保護者の意向を確認し、必要に応じて対応する。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	1	・日頃より情報共有を行っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	7		・情報の共有が出来る機会を作る。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		・契約時に説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		・個別面談・送迎時・電話等で聞き取りを行い計画に反映している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		・面談が出来ない場合は、送迎時に直接説明し、同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		・相談は常時対応している。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		8		・保護者の意向を確認し、必要に応じて対応する。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	1	・「ピュア通信」を発信している。	・定期的に発信する。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		・個人情報の取り扱いに留意している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		8		・今後の課題です。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		委員会を設置し、訓練を行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	2	・BCPの策定、訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		・事前に確認し、スタッフ間で共有をしている。 ・看護師が在籍している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	・契約時にアレルギーについて確認を行い、面談時にも確認している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1	・安全計画を策定している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		・安全計画を作成し、安全が確保できるように配慮している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		・支援日誌に記録をし、ヒヤリハットの共有を行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		・会議・研修の実施を行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		・個別支援計画に記載し、面談時に保護者様への説明と同意を得る。	